

# 議会だより

第42号

木津川市議会



ごみ袋有料化の  
公聴会を開催します

**11月19日(日)**

(詳しくは23ページをご覧ください。)

公述人に  
ご応募ください

## 夢色の輝きを

木津南中学校

ごみ袋有料化は継続審査	..... 本会議・請願	2~4
財政悪化さらなる行財政改革を	... 決算委員会	6~7
17人が市政を問う	..... 一般質問	13~21
市民と議会のつどい	.....	22
わたしの意見	.....	24

# 化は継続審査

## 市民の意見を聞く―

9月定例会は、8月31日から9月28日までの29日間で開催した。  
議案8件・同意2件・認定11件・議員提案1件を審議し、  
議案1件を除き、可決・同意・認定した。

### ごみ有料指定袋制の導入

ごみのさらなる減量・リサイクル推進のため、家庭系可燃ごみ袋を有料にするための条例改正。袋は7・15・30・45リットルの4種類で、1リットル当たり1円を徴収。実施は30年10月から。

Q 市長は、なぜ説明会へ出席しなかったのか。  
A 参加しなかったが、全庁的に取り組む。

Q ごみ袋有料化は、合併時の約束に違反。14回の説明会で市民から多くの疑問や意見が出たと思うが、原案を修正しなかったのはなぜか。  
A 地球環境が待ったなしの状況。全市民が急い

でごみ減量に取り組んでほしい。

Q 有料化で出る1800万円の利益金は何に使うのか。

A リサイクル等のごみ減量化の推進に使う予定。

厚生常任委員会で議案の継続審査を決定。11月に市民の意見を聞くため、公聴会を行う。

### 一般会計補正予算

補正予算第2号は、354万円減額し、297億1288万円とする。内容は、市エコ生活応援補助金の増額や、女性活躍推進法に対応するシステム改修費など。

修正案賛成討論  
ごみ袋有料化議案が継続審査となった。ごみ袋有料化の説明資料に多くの間違いがあった。いったん有料化関連予算を撤回するのが当然である。  
宮嶋 良造

### 原案賛成討論

ごみ有料指定袋制導入に向けては、議決されるまでは予算の執行をしないことという付帯意見をつけた。あえて修正を行う必要はない。  
高岡 伸行

### 市説明会資料の訂正を申し入れ

市が実施した説明会で使用した資料の数値に間違いがあったことが判明。市長に対し、速やかに訂正し、市民にも早急に周知するように、議長名で申し入れた。

### 修正動議を提出

酒井・九社前より清掃総務事務事業費を全額削減する修正案が出された。

修正案賛成少数で否決  
(賛成5人・反対16人)  
原案賛成多数で可決  
(賛成16人・反対5人)



毎日お世話になっています



# 有料ごみ袋

## —議会として—

### 一般会計決算

28年度決算の収支は、4億6171万円の黒字。29年度に繰り越す2億987万円を差し引いた実質収支は、2億5184万円の黒字。収入は、城山台地区を中心に新築家

屋の増加が、固定資産税増収に寄与している。

**Q** 個人市民税が、3年連続して増加している要因をどう考えているのか。  
**A** 所得増よりも人口増によるものと考えている。

### 反対討論

実質賃金が下がり、暮らしは大変なのに予算で支えなかった。ごみ袋有料化を間違った資料で進めている。不公正な同和行政が残されている。

宮嶋 良造

### 賛成討論

小中学校の図書室へのエアコン整備や認定こども園の施設整備等、重要施策を着実に推進された。将来に向け、より健全な財政運営を期待し賛成。

谷口 雄一

### 賛成多数で認定

(賛成15人・反対5人・退席1人)

### 国民健康保険決算

28年度決算の収支は、1億9848万円の黒字。国等への返還金および繰り上げ充用金や29年度に国等への返還交付金を差し引くと、5435万円の黒字。赤字から黒字に

転じた主な要因は、診療報酬の改定が大きく影響している。

**Q** 国保税の値上げを検討しているのか。

**A** 国保会計は厳しい運営である。30年度からの府一元化に向けて準備をしている。

### 全員賛成で認定

(退席1人)

### 後期高齢者医療決算

収入7億5790万円、

支出7億4847万円、

943万円の黒字。

### 反対討論

来年度で保険料の軽減策は廃止。これによって大幅な値上げになり、高齢者に負担。年齢で差別する医療制度は廃止すべきであり、反対。

森岡 譲

### 賛成討論

被保険者が前年より増加し、事業費は前年比9・3%増加した。収納率は昨年より良化。健康診査は広域連合の目標を超える実績であり、賛成。

森本 隆

### 賛成多数で認定

(賛成15人・反対5人・退席1人)

### 介護保険決算

28年度決算の収支は、1億8310万円の黒字。単年度収支額は、前年度の実質収支5042万円

を差し引いた1億326

8万円の黒字。

**Q** 利用料の負担が大きいのではないか。

**A** 受益者負担は、やむを得ない。

### 反対討論

決算で第6期の保険料の値上げが必要なかったことが判明。28・29年度の保険料を値下げすべきだった。7期の計画は、値下げを要求して反対。

森岡 譲

### 賛成討論

持続可能な制度維持のための適切な給付、いっしょに進む高齢化に備えて、介護予防事業や認知症対策に積極的に取り組まれていることを評価し賛成。

柴田はすみ

### 賛成多数で認定

(賛成15人・反対5人・退席1人)



急速に人口増が進む城山台

排水ポンプ車および  
ポンプユニットの  
買い入れ



昨年購入の排水ポンプ車とポンプユニット

木津合同樋門等樋門閉鎖時の内水排除対策として、排水ポンプ車（8トン車、車載ポンプ毎分7・5立方メートル・4台ポンプユニット（毎分5立方メートル・2台）を5270万円で購入。合同樋門の排水能力が毎分220立方メートルとなる。

全員賛成で可決

## 請願

家庭系ごみの有料袋制の中止を求める

請願者

霜田 勤・中野やすこ  
辻野みさを・脇田 正利  
宮本眞理子

紹介議員

宮嶋 良造・森岡 讓

請願内容

これまでの努力で市民一人当たりのごみ量は、減っている。今、必要なことは有料化でなく、協力してさらなる分別と減量を進めること。新たな家計の負担となるごみ袋有料化は中止するべき。

議案が継続審査となったため、請願も継続。

ごみ有料指定袋制に対し、議会として市民意見聴取を求める

請願者

木津川市未来会議

紹介議員

九社前串朗・西岡 政治

請願内容

ごみ袋有料化をめぐる賛否は大きく分かれる。ごみ袋有料化は、市民全員に負担を求めるもので、市民の意見を丁寧に聞くべき問題。議会として、議会基本条例に基づき、採決前に市民の意見聴取会を行うよう求める。

議案が継続審査となったため、請願も継続。

## 意見書

核兵器禁止条約の署名と批准を求める

提出者

西山幸千子

賛成者

炭本 範子・森本 茂  
九社前串朗

最も非人道的な核兵器の一日も早い廃絶は、被爆国日本の、国民共通の願い。  
北朝鮮が核兵器開発の暴挙を続ける中、日本の批准は、平和に大きく貢献する。

提出先

衆・参議院議長  
内閣総理大臣他

賛成多数で可決  
(賛成12人・反対9人)

### 特別会計等決算状況

万円未満の金額は切り捨て

特別会計名	収入額	支出額
国民健康保険	80億2364万円	78億2516万円
後期高齢者医療	7億5790万円	7億4847万円
介護保険	43億8179万円	41億9869万円
公共下水道事業	18億3745万円	16億5732万円
簡易水道	1億5157万円	1億4519万円

特別会計名	収入額	支出額
4 財産区	1456万円	1296万円
公営企業会計	収入額	支出額
水道事業	25億5424万円	27億7118万円
（収益的収支	17億2795万円	16億7131万円
資本的収支	8億2628万円	10億9986万円

### 一般会計における主要財政分析指数

区分	28年度	27年度	数値の説明
財政力指数 (3カ年平均)	0.655	0.652	指数が1に近いほど財源に余裕がある
経常収支比率	97.8%	96.1%	財政構造の弾力性を判断する指標
実質公債費比率 (3カ年平均)	11.0%	11.6%	市の収入に対する実質的な借金の比率

全ての会計が黒字。しかし、市債残高は年々増加しているため、留意が必要である。  
税の収納率が向上し続けていること、税外債権の滞納対策が進んでいることは評価。  
市民サービスを低下させることなく、持続可能な財政運営を望む。

28年度決算  
監査報告(要約)



# ごみ有料指定袋の予算に 付帯意見を付ける

## 補正予算特別委員会

9月11日に委員会を開会。一般会計予算を354万円減額し、297億1288万円とするもの。賛成多数で可決。

### 主な質疑

スマートウェルネスプロジェクト事業

Q 事業不採択の理由は、

A 審査基準にのっとり、結果と聞いており、照会したが明確な回答は示されなかった。

Q 地方創生の一環で市長肝いりの事業と理解しているが、次年度に向けて展開する予定は。

A 健康増進につながる取り組みであり、消極的にならず再チャレンジを。

A 財源のめどが立たず、実施予定はないが、研究

は続けていきたい。

健康意識のきっかけづくりの啓発等の取り組みは継続していく。

はなやか市整備の補助金

Q 具体的な事業内容は、

A 花野果市<sup>はなやか</sup>の増築（約50㎡）に対する補助。13

年の開業時に1割を補助しており、農林水産業の特認補助金事業として1割を補助する。

工期は、29年11月25日

Q 付託先の厚生委員会において条例改正案は継

家庭系ごみのさらなる減量促進事業

ごみ有料指定袋およびおためし袋、ごみ分別ガイドブック、啓発用チラシを1825万円で作成するもの。

Q 分別ガイドブックは毎年更新か。転入者への配布は。また、チラシ部数は適正か。

A 必要に応じて増刷し、転入者へも配布している。チラシは広報発行部数に合わせている。



増築される はなやか市

続審査となった。本事業の予算執行はどのような対応をするのか。

修正案賛成少数で否決  
原案賛成多数で可決

修正案賛成討論

厚生委員会でごみ袋有料化議案が継続審査となり、予算を削除すべき。

修正動議を提出  
ごみ有料指定袋の事業費を削除

A 根拠となる条例改正案が可決されるまで、予算執行はできない。

### 補正予算に対する付帯意見

議案47号（廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について）は、付託先である厚生常任委員会において、閉会中の継続審査となった。ついては、29年度一般会計補正予算で、同議案に関連する予算が計上されているが、議決されるまでは予算の執行をしないこと。

委員長	谷川	光男
副委員長	谷口	雄一
委員	長岡	一夫
西山	幸子	
柴田	はすみ	
山本	和延	
伊藤	紀枝	
炭本	範子	
片岡	克伊	
倉井	弘一	
酒井		

# る行財政改革を

## 決算特別委員会

決算特別委員会（森本茂委員長・森本隆副委員長）は、議長と監査委員を除く20人で、9月21日・22日・25日の3日間、28年度一般会計歳入歳出決算認定の審査を行った。

収支は4億6171万円の黒字で、事業繰越金2億987万円を引いた実質収支は2億5184万円の黒字となった。

基金残高（貯金）は、111億5860万円で8億1636万円減少。地方債（借金）と債務負担行為の残高は404億2071万円（前年比35億4121万円減）。経常収支比率は97・8%（前年比1・7ポイント悪化）となり、過去最悪の財政状況となった。

## 主な質疑

（市長室・総務部等）

集会所の坪単価

Q 梅美台集会所建築の坪単価は100万円を超えている。設計監理で700万円もかかっているが、高いのでは。

A 集会所の耐久性も考えて設計している。

職員の時間外労働

Q 職員の残業で、月45時間を超えるのは何人か。

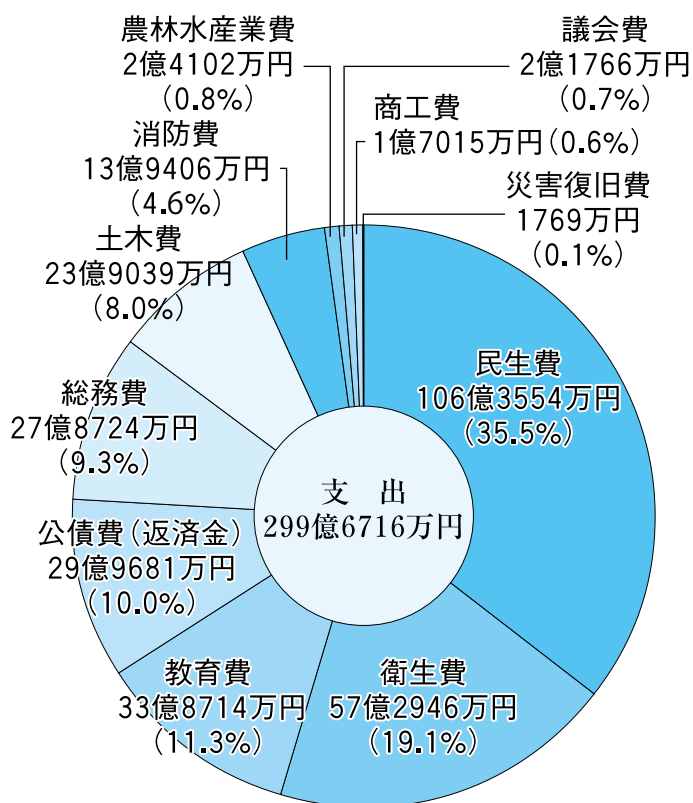


10月末引き渡しの梅美台4・5・6丁目集会所

また、庁内で一番多い時間数は、  
A 延べ165人。  
年間で653時間。

## 主な事業の決算額 （28年度一般会計）

- ・子育て支援医療費助成 3億2073万円
  - ・認定こども園（藍咲学園）施設整備補助 2億7588万円
  - ・放課後児童クラブ施設整備（上粕・棚倉） 6115万円
  - ・新設学校給食センター用地取得等（梅美台7丁目） 1億4133万円
  - ・広域道路網の整備（東中央線等） 1億8734万円
  - ・ごみ処理事業（西部塵埃処理組合と民間委託） 10億5600万円
  - ・クリーンセンター（環境の森センター・きづがわ）整備 30億4230万円
  - ・梅美台保育園施設の市債繰上償還 1億5902万円
- （万円未満の金額は切り捨て）





# 財政悪化さらな



4月開園の藍咲学園

介護サポーターの役割は

Q 介護予防サポーター58人を養成されたが、どのような活動をされるのか。

A 地域住民の介護予防の担い手となっている。

(建設部・教育部等)

赤田川の関連事業

JR奈良線の複線化は

Q JR奈良線の第2期複線化の進捗と3期の見通しは。

A 2期の工事は、順調にすすんでいる。引き続き全線複線化に向けて要望していく。

(市民部・健康福祉部)

保育コンシェルジュ

Q 保育コンシェルジュの活動の効果は。

A 昨年度は保育所入所相談と育児・発達相談などで1706件の活動をした。

給食センターの生ごみ

Q 3給食センターの生ごみを事業系ごみとした根拠は。

A 28年度から3給食センターおよび18学校も事業系ごみで処理している。

## 自由討議

質疑終了後、次期予算への政策提言課題2件の討議を行った。

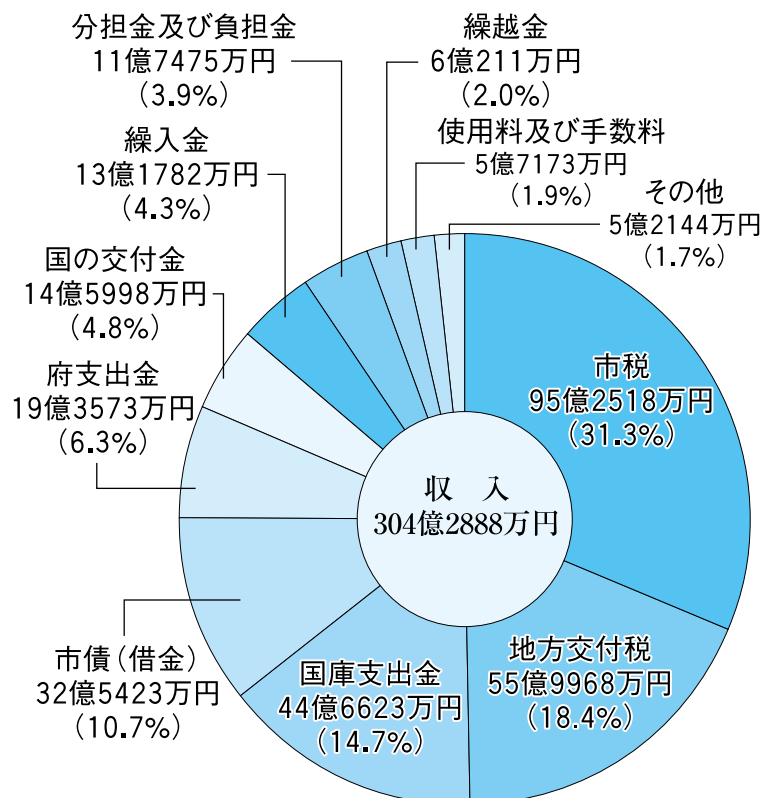
①決算資料を成果と課題が分かるものへ、さらなる改善をすすめよ。

## 賛成多数で認定

② 2件とも賛成少数で否決  
② 棚倉児童クラブ建築費等が高額すぎる。今後はもっと精査を。  
賛成多数で認定  
賛成討論  
防災対策や市民の安心安全に積極的に取り組み、経常経費縮減に努力。

## 賛成多数で認定

② 市税の暮らしへの手立ては不十分、国保は評価、介護保険は高すぎる。



## 個人市民税の減額分は国費補填

### 総務文教委員会

9月4日に委員会を開会し、認定4件、議案3件、報告3件を審査した。

全議案認定・可決

### 配偶者控除等の改正

Q 今回の条例改正で、配偶者控除と配偶者特別

控除額はどう変わるのか。

A どちらも、改正後は

控除を受ける本人の合計所得金額に対する制限が

設けられる（上限1千万円）。

また、配偶者特別控除

の対象となる配偶者の合計所得金額が123万円

まで引き上げられた。

Q 国が全額補填すると聞いているが、という

形で補填するのか。

A 方法は決まってい

ないが、国費で全額補填することは決まっている。

全員賛成で可決

### 旧加茂町4財産区の決算

Q 自治振興事業の内容

は。

A 里区は公民館の老朽化による雨漏りやモルタルの補修等。

4 決算とも

全員賛成で認定



改修された里区公民館

### 報告案件

学研都市京都土地開発公社

Q 公社が所有している土地も少なくなっている。

公社のあり方についての考えは。

A 3市町とも今後、用地を取得して実施する事業もあり、幹事会、理事会で議論した。当面必要と判断。

### ワード

#### DBO方式・PFI-BTO方式

DBO方式とは、行政が資金を調達し、民間事業者が設計・建設・運営等を一括で委託。

PFI-BTO方式とは、民間事業者が資金調達を行い、設計・建設・運営を行う。所有権は施設完成後に行政に譲渡。

### 事業概要

・542室への空調設置（小・中学校、幼稚園）

空調設備へのPFI導入可能性調査の中間報告  
小・中学校、幼稚園の普通教室等への空調設備の設置にあたり、民間活力事業手法であるPFI手法を用いた導入可能性の調査を行っている。

### 中間報告

・事業期間 14年間（設置1年、維持管理13年）  
従来からの市が発注・施行する方式、DBO方式、PFI-BTO方式、リース方式の4つの手法で比較検討を行った。PFI-BTO方式が最も良い評価との中間報告であった。



# ごみ有料袋制の 公聴会を決定

## 厚生委員会

9月5日、委員会を開会し、  
認定3件、議案3件、請願2件  
を審査した。

認定3件・議案2件は認定・可決  
議案1件と請願2件は継続

### ごみ有料指定袋制

来年10月から家庭系ご  
み有料袋制を実施する条  
例改正案。

を2、3倍に増やす。  
減量効果は市民に分か  
るようにする。

住民負担は検証し、見  
直しも考えていく。

**Q** 市主催の説明会へ市  
民の参加者は少なかった  
が、今後の対応は。

**A** 少なかったが、地域  
から要望があった8カ所  
で、出前の説明会を行っ  
ている。

**Q** 市の決定は廃棄物減  
量等推進審議会の答申の  
精神を尊重していない。  
**A** さらにしっかりと説明  
していく。

議案に関連する請願2  
件を審査した。

・家庭系ごみの有料袋制  
の中止を求める請願  
・議会としての市民意見  
聴取会の開催を求める  
請願

**Q** 有料化で出る利益は  
どのように使うのか。  
**A** ごみの減量施策に活  
用する。すでにごみコン  
ポストの貸し出しは始め  
た。不法投棄パトロール

2件とも請願者から意



多数の意見が出た説明会(ごみ有料袋制)

見陳述を受け、質疑を行  
った。

その後、議案質疑を繼  
続し、議員間の討議を行  
った。

「継続審査」の動議が  
あった。可否同数となり、  
委員長が賛成して継続審  
査を決定し、会期中なら  
びに閉会中とした。

議案が継続審査になっ  
たため、請願2件も同様  
の扱いにする委員長が  
宣告した。

9月15日、委員会を開  
催し、市民の意見聴取に  
ついて審議した。

11月19日に公聴会の開  
催を決定。(詳細はP23)

### 国民健康保険決算

27年度の赤字から2億  
円弱の黒字決算に。黒字  
理由は、税徴収率の向上  
と診療報酬が引き下げら  
れたことによる。

**Q** 30年度から府一元化  
される。税額は誰が決め  
るのか。

**A** 市が決定。

### 全員賛成で認定

**反対討論**  
保険料を値上げしたが  
利用は減少。見込みが間  
違っていた。

### 後期高齢者医療決算

943万円の黒字決算。

賛成多数で認定

**Q** 短期証の発行状況は。  
**A** 3人。

### 反対討論

大幅な保険料引き上げ。  
年齢で差別する医療制度  
であり、廃止すべき。

### 賛成多数で認定

災害での死亡者弔慰金  
の支給対象に兄弟姉妹も  
追加。

### 災害弔慰金の支給 条例改正

全員賛成で可決

### 介護保険決算

1億8310万円の黒  
字決算。

**Q** 介護保険の利用は計  
画を下回るが今後は。

**A** 利用はさらに鈍化が  
予想される。次期介護計  
画は、年内の策定を目指  
している。

# 合同樋門の能力向上に ポンプユニット購入

## 産業建設委員会

9月7日に委員会を開会し、認定3件、議案1件、報告2件を審査した。

全議案認定・可決

### 公共下水道決算

1億8012万円の黒字決算。

Q 2764万円の不納欠損を行っているが、何年度分を処理したのか。

A 時効消滅となった19年度から22年度分を不納欠損処理した。まだ収入未済額が2310万円残っている。

Q 予算の流用が行われているが、緊急により行ったものか。

A 当初に修繕費を計上していたが、急きょ対応が必要な修繕が6件発生

したため。

Q 下水道の普及率が前年度と比べ少し悪化した

A 普及率の悪化は処理区域の拡大によるもの。改善策は、戸別訪問し、水洗化助成制度を説明。

Q 地方公営企業会計の移行に伴い、資産・財産の把握は完了したのか。

A 財産調査もすべて終了した。

全員賛成で認定



排水能力のアップを進める合同樋門

### 簡易水道決算

638万円の黒字決算。

Q 債権放棄報告書の内容は。

A 27年度決算より1人分少ない39人分を債権放棄した。

Q 委託している検針の方法および単価は。

A 3人で隔月で検針を実施し、単価は72円。

Q 消費税還付金が発生しているが内容は。

A 水道事業会計との統合により、消費税課税方式が変更となったことにより還付が生じた。

全員賛成で認定

### 水道決算

収益的収支は3992万円の純利益。

Q 府営水道宇治、乙訓、木津3系統の統合状況は。

A 系統により水の需要予測が異なる。府に要望している。

Q 奈良市から受水を行う必要があるのか。

A 受水しているが、災害等緊急時の連絡用としても必要であり、維持管理が目的。

全員賛成で認定

### 排水ポンプ車および ポンプユニット買い入れ

Q 耐用年数は。また保管場所はどこか。

A 前年度に購入したものと同じ30年。山城支所を予定。

全員賛成で可決

### 報告案件

市公園都市緑化協会  
事業の決算・予算報告

Q 以前にも指摘したが、緑化協会の役割として草刈や耕うんの仕事を行う必要があるのか。事業内容を精査するべき。

A 市の受託事業を行っている。

今後は、緑化推進もアピールしていきたい。



# 環境の森センター・きづがわ

進捗率は65%

クリーンセンター建設特別委員会

9月8日に委員会を開会し、進捗状況の説明を受ける。  
その後に現地調査を実施した。

- 7月～8月の施設整備工事の取り組み状況は、建設本体の3階から5階の柱・壁のコンクリート打設、ALC板による外壁・内壁の施工、ボイラーの現場溶接、薬剤貯留槽などのプラント機器の据え付け。
- 燃焼ガス冷却設備などの安全管理検査を、(株)タクマ尼崎工場で実施。
- Q** 完成の時期は。  
**A** 姿完成は30年3月末。その後、試運転を行い、30年9月末に竣工。
- Q** 分別をする必要があると考えている。現在、市と精華町で、統一した取り扱いの作業を進めている。  
**A** 映像を公開しては。検討する。
- Q** 環境保全協定の締結状況は。  
**A** それぞれの区で検討されている。
- Q** 白煙防止装置とはどのようなものか。  
**A** 気温5度、湿度50%において白煙が見えない。置は。
- Q** 環境監視委員会の設置の予定。  
**A** 供用開始に併せて設置の予定。

## 主な質疑

**Q** 廃プラ類と容器包装類との分別を徹底して行うべきでは。



委員会で工事進捗を調査

# 組合議会報告

決算は黒字

(京都地方税機構)

8月5日、定例会開会。  
議案1件、認定1件審議。

議長選挙で、府議會議員の石田宗久氏を選出。

京都地方税機構個人情報保護条例の一部改正。

全員賛成で可決

28年度一般会計決算は、収入24億541万円、支出24億458万円、決算収支83万円の黒字。

賛成多数で認定

最後に、選挙管理委員会および補充委員の選挙について、提案があり、全員賛成で承認された。

東日本大震災の被災者に減免の延長

(府後期高齢者医療広域連合)

8月25日、定例会開会。  
同意4件、議案2件、承認2件を審議。

副広域連合長に堀忠雄和束町長、村上圭子京都市副市長を選任。

監査委員に長岡一夫と川村和久氏(城陽市監査委員)を選任。

4件とも全員賛成で同意

28年度一般会計決算は収入10億1626万円、支出9億5296万円。収入は分担金のほか、国・府支出金。支出は運営経費等。

賛成多数で認定

29年度特別会計補正予算は、13億574万円を増額し、3337億724万円とする。

東日本大震災に被災した被災者に対して、保険料の減免期間延長の条例の一部を改正。

全員賛成で可決

28年度特別会計決算は収入3387億7758万円、支出3263億7

# 採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載  
賛成=○ 反対=× 退席=△ 欠席=空白 議長は採決に加わらない

議員名	会派名	議案名(第3回定例会)														
		平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定	平成28年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算	平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	平成28年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度旧北村旧兎並村旧里村財産区特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度旧加茂町財産区特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度旧瓶原村財産区特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度旧当尾村財産区特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度水道事業会計決算の認定	個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正	平成29年度一般会計補正予算第2号	平成29年度一般会計補正予算第2号に対する修正動議	核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書
谷口 雄一	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
森本 隆	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
高岡 伸行	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
山本 和延	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
伊藤紀味枝	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
尾崎 輝雄	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
倉 克伊	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
長岡 一夫	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
河口 靖子	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
炭本 範子	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
西岡 政治	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	×	○
西山幸千子	共 産	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
森岡 譲	共 産	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
宮嶋 良造	共 産	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
酒井 弘一	共 産	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
森本 茂	木津川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
片岡 廣	木津川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
谷川 光男	木津川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
柴田はすみ	公 明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
島野 均	公 明	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	×	×
九社前聿朗	無会派	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
高味 孝之	議 長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
採決結果		認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	可決	可決	否決	可決

さくら=さくら会 民主未来=民主未来クラブ 共産=日本共産党木津川市議員団  
木津川=木津川の会 公明=公明党 無会派=会派に属さない議員



一般質問

17人が市政を問う



<http://www.kizugawa-city.stream.jfit.co.jp/>

インターネットで市議会の  
生中継や録画配信が  
ご覧いただけます。

木津川市議会

検索



タイムライン発動で命を守れ

作成しているタイムラインで対応

**Q** ①今年の台風5号の災害対応は。

②災害に対して防災、減災にどう取り組むのか。

**A** 総務部①木津川の水位に伴う樋門の閉鎖などタイムライン（防災行動計画）で対応した。

②地域や社会全体で「防災意識社会」が必要であ

り、出前講座、市防災訓練を通じて意識を高める。

初動体制を図るため、自主防災組織の設立支援に努める。

ビッグデータを利用せよ

**Q** 市内交通事故に対して、ビッグデータを



公明党

島野 均

利用して事故多発地帯を市民に伝達を。

**A** 総務部 交通事故統計など交通安全のデータをもとに事故多発地帯に啓発看板を設置し、市民に注意喚起する。

聴覚障害者の窓口対応は

**Q** ①市内の聴覚障害者は何人か。

②市役所窓口で専用タブレットを使用しては。

**A** 健康福祉部①聴覚障害者は306人。音声・言語・そしゃく機能障害は62人。

②基本的に筆談等で対応しており、専用タブレットは使用していない。導入効果を調査する。



木津川市防災訓練（昨年の様子）

LGBTQへの理解と取り組みを

認めあうことも大切である

**Q** ①法的証明になるパートナーシップ条例の導入を。

②学校でも相談できる体制を。多目的トイレの増設などハード面を整えよ。

**A** **市長・教育長** ①認識はあるが導入に至っていない。

②教職員の研修を通し、

個々に対応。

トイレは各学校の状況を見ながら検討する。

**就労支援の交通費助成を**

**Q** 障がい者の多くが通う就労継続支援B型の賃金は、平均で月1万6504円しかない。



日本共産党

西山幸千子

近隣で交通費助成を実施しているのはどこか。

**A** **健康福祉部** 交通費助成は考えてない。

山城南地域では精華町。山城北地域は全自治体が実施済みである。

防災行政無線の役割は

**Q** ①8月17日の不審者情報放送後の対応は。

②防災無線が聞きにくいとの声が多い。高齢者へは丁寧な対応を。

**A** **教育部・総務部** ①部活動中の中学生は校舎内で待機。保育園等は部屋に入り、安全のため施錠した。

②改善の必要はある。行事等で他の伝達手段も含めて説明していく。

市長を先頭に周知・啓発を  
可能な限り地域に入り説明する

**Q** 本市では、家庭系可燃ごみ有料指定袋制が、30年10月1日導入に向け、準備が進められている。

有料化で減量・資源化が進むとは思えない。

そこで、次の課題に対する市の考えをたずねる。

**A** **市長・市民部他** ①特定財源として活用。

②拠点収集地域への配慮



民主未来クラブ

西岡 政治

と拠点収集を選択できる制度を検討したい。

③可能な限り地域に入り理解と協力を求める。

④十分検討に値するもの

一般質問のその後を聞く

**Q** 27年6月定例会以降の一般質問に対する取り組み状況を聞く。

①上下水道事業の一部一課制の導入は。

②山城老人福祉センターの休館日の見直し。

**A** **上下水道部・健康福祉部** ①まずは水道事業を一課に組織構成を考

えている。

②12月議会に条例ならびに補正予算を計上する。



木津地域は戸別 山城地域は拠点収集

様式第1号（第4条関係）

パートナーシップ宣誓書

私たち と は、「伊賀市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱」に基づき、互いをその人生のパートナーとすることを宣誓し、署名いたします。

年 月 日

（住所）

（氏名）

（住所）

（氏名）

伊賀市のパートナーシップ制度



**Q** 有権者が投票しやすい環境を整備する取り組みを問う。①期日前投票所の状況は。②イオンモール高の原で期日前投票を実施する予定は。

**A** 総務部①期日前投票の比率は、19年は約14%だったが、28年は23%に増加した。②30年4

**Q** ①「木津川市国民保護計画」で市の責務と役割は。②有事の際の伝達手段は。

## 期日前投票所の拡充を イオンモール高の原を検討

月の知事選に向けて、イオンモール高の原で設置を検討している。

弾道ミサイル攻撃対応は

**A** 総務部①市民への情報提供と生命・財産を守ること。②「アラート」で防災行政無線による音声と防災情報メール、TV等で伝達する。



さくら会  
森本 隆

**Q** 可燃ごみ袋有料化の導入目的を問う。①有料化でごみ減量をしたいと市民の負担はどうなるのか。②今後30年間の

**A** 市長・市民部①現状ごみ1日35トンが最大39トンに増加し、市民の負担増になる。②ごみ減量を経費削減につなげて、現状の住民サービスの維持に取り組む。



西部出張所に期日前投票所を（イオン高の原内）

市町名		排出量 [g/人・日]	リサイクル率
木津川市	平成11年度	724g	25.7%
	平成21年度	709g	25.2%
	平成27年度	720g	21.3%
精華町	平成11年度	835g	17.3%
	平成21年度	679g	29.5%
	平成27年度	645g	27.9%

ごみ処理状況表（京都府のHPより数値抜粋）

## いみ有料袋の説明会の疑問 内数計算による差異

**Q** 市民説明会において配付された資料の中で、27年度の市の可燃ごみ・その他のごみの数値、また、リサイクル率が環境省の数値と差異がある。また、市の図表は、市のごみ減量施策が進んでおらず、精華町のごみ処理状況を参考にすべきでは。

**A** 市民部 廃プラ類、ビニール類等の内数計算によるもので差異はない。

**Q** 加茂地域から木津間のバス運行について、路線改善計画はないのか。

**A** マチオモイ 実証運行結果を受け、引き続き協議会で検討する。

**Q** 8月に南加茂台地域において、水道管破損による濁水被害があった。給水車の配置が1カ

水道管破損への対応は



会派に属さない  
九社前 隼朗

所しかなく、高齢者が給水場所まで行けない。また、広報が聞こえない。市の危機管理意識の欠如と考えるが。

**A** 上下水道部 今回た



## 防災対策に万全の体制を

### 訓練への協力等を積極的に行う

**Q** 全国各地で風水害や地震等による甚大な被害があった。市の防災対策の取り組みを問う。

**A** 総務部・教育部①個別にスピーカーの向きを調整する等の対応。②施設や地域長宅等で204台（木津95台・加茂62台・山城42台他）。要配慮者等で土砂災害警戒区域の方に年度内に渡し



さくら会

伊藤紀味枝

### 子どもたちの事故防止を

**Q** 子どもの自転車等の事故防止を。①市内の自転車事故件数は。②安全対策と指導は。③ブレイブボードの指導は。

**A** 総務部・教育部①今年前半で8件。②警察署員の交通安全教室を開催。③公道では乗らせない。



戸別受信機の早期拡充を



右折信号の設置を（梅美台交差点）

## 認定ヘルパー制度の創設を

### ふれあい支援員で対応

**Q** 軽度支援者のために、ヘルパー等の資格がなくても、一定の研修を受ければ家事援助等できる「認定ヘルパー制度」を創設する考えは。

**A** 健康福祉部 シルバー人材に委託して「ふれあい支援員」事業を実施。7人の登録で2

つながらない。

### 補助金の拡充を

**Q** NPO法人等市の活性化のため、頑張っ

ておられる団体に、独自の補助金制度の創設を。

**A** 政策監 市の財政状況ではなかなか難し



公明党

柴田はすみ

い。国や府の財源を活用できるように紹介。

### 矢印信号を設置せよ

**Q** 梅美台の交差点は、城山台からの車が見えにくく、事故が多い。右折信号を設置せよ。

**A** 総務部 認識している。公安委員会に要望する。

**Q** 京都山城医療センターで心臓ペースメーカーの埋め込み手術を受けた方が自立支援医療を申し出たらできないと言われた。病院の診療科目が国指定の心臓脈管外科でなく心臓内科であるためとの説明であった。市はどう考えるか。

**A** 健康福祉部 この件で使えなかったというのは数件聞いている。府は心臓内科でも可能と説明。病院へ指定機関申請の検討を要請した。

行政地域制度の検証を

**A** 総務部 円滑に推進できている。よりよい制度となるよう努める。

**Q** 市が区長制度を廃止し行政地域制度を施行して8年。地域では地域長や行政に不満の声がある。制度の成果や課題を検証すべきだ。

**A** 健康福祉部 「指導」などの文言は実態に即して検証する。他に適当な団体がないので社協を特命指定した。

## 病院へ申し入れを行った

## 自立支援医療を实のあるものに



日本共産党

酒井 弘一

## 老人福祉センターの管理

**Q** 老人福祉センター条例の設置目的や事業の文言は極めて不適切。改めよ。

**A** 健康福祉部 指定管理者の決定方法は条例違反。公募を行え。



自立支援指定医療機関の京都山城総合医療センター



防災行政無線の改善を

## 防災行政無線の改善点と対応は

## スピーカーの調整などで対応

**Q** 防災行政無線の声が聞きづらい、音が割れて聞き取りにくいなどの声や意見を聞く。早急に改善を進めるべき。

**A** 総務部 防災行政無線で伝えた内容について、さらに詳しい情報を発信している。防災情報メールやFAX受信の

登録を啓発していく。

## 部活休養日の基準設定を

**Q** 運動部の休養日の基準を設定しているのは全国で42・9％。国際教員指導環境調査で、教員の長時間勤務が問題となっている。市の考えは。

**A** 教育部 部活動は、週1回の休養日を設定した。今後は、業務改善、地域力の活用、教職員の意識改革を中心に進める。



民主未来クラブ

長岡 一夫

## 障害者地域生活支援事業

**Q** 地域支援事業の制度と運用が大きく変わった。

**A** 健康福祉部 障害者自立支援協議会と協議し、改善を要するものは、検討していく。

28年度決算をどう評価する

さらに徹底した事業見直しを行う

**Q** 過去10年間の経常収支比率と財政力指数、実質公債費比率を見ても相当厳しい数字である。一番危機感を感じるのが経常収支比率である。悪化の原因は。経常収支比率100%を超さないための手段は。近隣市町村の状況は。

**A** 総務部 財政構造の硬直化の現れであり、危機的状況である。原因は各種交付金の減額等により歳入額が減少したこと。今後は徹底した事業の見直しを行い、公共施設の廃止・統合など本格に取り組む。

**Q** URの撤退が30年度である。本市としての考えと今後の計画内容と方向性は。URの持ち分を市に無償譲渡された場合

率が前年度より悪化している。

学研木津東地区の今後は

**Q** URの撤退が30年度である。本市としての考えと今後の計画内容と方向性は。URの持ち分を市に無償譲渡された場合

**A** 建設部 民間企業の研究施設や住宅用地として整備計画を行い、今後もURと協議する。開発民間事業者の誘致活動を行い、計画提案を求める。



さくら会  
尾崎 輝雄

の事業費は。売却した場合の売上高は試算されたか。土地開発等は民間業者に委ねるのが必至である。



木津川市観光協会の改革は



東中央線「新架橋」に愛称を

財政非常事態脱却の具体策を問う

オール木津川で持続可能な財政に

**Q** ①28年度決算で経常収支比率が97・8%と悪化した要因と脱却策は。②行財政改革で正職員数の抑制、非正規職員数の適正化、特別職の人員費見直し、電力等コストの削減とLED化促進を。③行政サービス改革で窓口業務等の民間委託

**A** 総務部・政策監①扶助費の増加や、普通交付税・地方消費税交付金の減額で悪化。公共施設



木津川の会  
森本 茂

を。④自ら稼ぐ行政経営で、企業版ふるさと納税や城山台の配水池、中央体育館、大仏鉄道沿道の通称名にネーミングライツの導入を。

**A** 建設部①府に伝える。②府と連携して対応。③直前と聞いている。④市で設置する。(他に3問質問)

新架橋に愛称の公募を

**Q** 東中央線の整備を問う。①新架橋の愛称の公募を。②遮音壁設置を市で。③供用前の環境測定は。④万葉歌碑の建立は。

**A** 建設部①府に伝える。②府と連携して対応。③直前と聞いている。④市で設置する。(他に3問質問)



**Q** 本年3月議会で質問した交差点等の除草や「消えかかっている道路表示の更新」の進捗状況は。

**A** 建設部 除草していない市道は継続して通報や道路パトロールにより現場状況を確認し、職員が除草作業を実施し

## 交通安全対策のその後は 年内に道路表示の工事を発注

ている。

道路表示の更新は、市内の主要な幹線道路および準幹線道路を計画している。また、通学路についても白線が消えかかっている箇所も併せて更新を行う。現在、年内に工事を発注する準備中。

**Q** 各町内・自治会の要望の達成度について次の点について聞く。①5年間の要望件数は。②単年度と複数年度にまたがる割合は。③要望の実現数は。④未実施の要望の解決は。

町内会等の要望の解決は



日本共産党

森岡 譲

**A** 総務部・建設部①5年平均で457件。②新規182件、継続が271件。③29年度は116件。④緊急を要するもの、早急な対策が必要なもの、可能な限り対応する。また、市道335号は今年度調査費をつけて、道路の線形等も踏まえて、業務委託を発注したところである。



消えかかっている白線（川ノ尻交差点）



実りが無い田んぼ

## 薬用植物を市の特産品に 農家の方へ検討・提案

**Q** 耕作放棄地対策の見通しは。

**A** マチオモイ 所有農地の利用に関する調査を実施し、結果を踏まえ対策を講じていく。

**Q** 耕作放棄地に薬用植物を栽培する目的は、地元高齢者の労働力の活用、薬用植物を市の特産

品に定着、地域振興をはかる。これのメリットは、栽培農地は肥沃な土地でなくてもよい。山間地でも利用できる。また、有害鳥獣被害がない。高齢者が自分の畑で仕事ができ、失業対策にもなり、健康状態もよくなることも考えられる。



民主未来クラブ

河口 靖子

**A** マチオモイ 条件がクリアできれば、関係機関と具体的な検討に入り、提案も考えている。

**Q** 今後のスケジュールは。

障害児支援計画はいつ

避難マニュアルの制定

**A** 健康福祉部 10月に第1回の委員会を開催。パブリックコメント等に付して、年度内にまとめる。

**A** 総務部 啓発、物資両面の広報をする。

**Q** 広報紙に掲載しては。

根拠崩れる有料化を撤回せよ

お詫びし訂正するが撤回しない

**Q** ①なぜ市長は市民説明会に出なかったのか。②有料化の根拠資料にいくつもの間違いがある。③減量しづらい廃プラごみも有料はおかしい。④30%減量を達成した世帯も有料はおかしい。⑤有料化をやめ、市民との協力で分別減量できる。

**A** 市長・市民部①基本方針に基づき職員が責任を持って説明した。②お詫びし間違いは訂正する。議案は撤回しない。③有料化で排出抑制が働き廃プラも減量できる。④減量で負担は小さい。⑤有料化によるごみ減量で環境負荷を低減する。

国保・介護を上げるな



日本共産党

宮嶋 良造

**Q** ①高齢者の実際はどうか。②保険料の値上げは。③低額無料診療所は。④介護・国保の公的負担を増やせ。

**A** 市民部・健康福祉部①単身や夫婦のみが多く、病气や介護に不安

がある。②介護保険料は基金を使い抑える。国保税の見直しは避けられない。③ホームページで紹介。④国に要望している。

駅周辺案内図を改善せよ

**Q** 駅周辺の案内図を更新せよ。

**A** マチオモイ 市管理物は計画的に改善、他は関係機関に依頼する。



家庭での生ごみ処理で大幅にごみ減量

地方創生の成果は

客数も増え消費額も増加

**Q** ①地方創生総合戦略も3年目に入り中間地点に差しかった。活性化へ向けた検証方法、市民へのPRが不十分では。②企業誘致により、過去2年間で雇用は何人増えたか。③安定した雇用が大きな課題である。また、女性の社会進出が

叫ばれているが、女性の雇用は何人か。

**A** 政策監・マチオモイ①市民・関係者の方に分かりやすい資料の作成に、前向きに取り組んでいく。②操業開始をした新しい企業4施設で、市内の新規雇用者は80人程度。③30人程度。



さくら会

高岡 伸行

**Q** 地域コミュニティの充実も大切。環の拠点創出・キツガワゴン事業、梅谷カフェ等に取り組みましたが、市外からの滞在人口は、25年に比べて増えたか。

**A** 市長・副市長他 府外からは1万5千人以上増加。

府内からは微増。夏の花火大会、2年に1回の木津川アート等定着してきている。また、農で頑張る協議会は新しい仲間がたくさん増え、イオン高の原で第2土日に品物も出品していただいている。

地方創生はよい機会であり、成長できるよう頑張っていく。



イオン高の原で定期的にみのり市を開催（第2土・日曜日）

また、女性の社会進出が

市内の新規雇用者は80人程度。③30人程度。

府外からは1万5千人以上増加。



**Q** 要望は地元地域にと  
って大切に重要なこ  
とである。①要望453  
件中、予算に反映でき  
た件数は。②様式の統一や  
今後の方針の記入を。③  
回答を郵送後、地域長や  
地域への対応は。

**A** 総務部①28年度は1  
17件。②方針など

**Q** 土地改良区は市単独  
事業、災害等の対応  
など担当課と同様の仕事

土地改良区の拠点は

内容であり、公共性が高  
い。加茂町の事務所が、  
なぜ、2階から3階へ移  
らなければならぬのか。  
**A** 市民部 10年間適切  
に業務をされている。  
部内で検討し、従来どお  
りの使用を視野に検討し  
ている。

**Q** 市の人口は増加して  
いる。①人口減少地  
域の活性化策は。  
②庁内に、空家など相談  
を受ける部署が必要。基  
となる空家等対策計画の  
取り組みは。

**A** マチオモイ①地域で  
ワークショップを開  
催し、問題点を探る。  
②年度内に策定する。

## 要望の取り扱いは住民に満足か 地域と調整を図りながら対応



民主未来クラブ

炭本 範子

人口減少地域への対策は

**Q** 市の人口は増加して  
いる。①人口減少地  
域の活性化策は。

②庁内に、空家など相談  
を受ける部署が必要。基  
となる空家等対策計画の  
取り組みは。

**A** マチオモイ①地域で  
ワークショップを開  
催し、問題点を探る。  
②年度内に策定する。



歴史ある大井手用水（瓶原土地改良区管理）



広がる学校支援地域本部事業（地域の方による家庭科授業の補助）

## 覚悟をもって行財政改革の推進を 職員一丸となりやり遂げる

**Q** 市の財政は大変厳し  
い状況。30年度開始  
の第3次行財政改革大綱  
の方針とその実現が重要  
では。

**A** 市長 28年度決算を  
踏まえ、管理職に現  
状を説明。合併算定替の  
通減が約6億円となり、  
次年度の予算から、すぐ

に取り組める事業の見直  
しを指示した。

公共施設等は合併効果  
を検証し、類似施設の見  
直しを含め、身の丈に合  
った行政サービスを目指  
していく。



さくら会

谷口 雄一

教育施策の情報発信を

**Q** コミュニティスクー  
ルの設置を努力義務  
化する法改正があった。

**A** 教育部 学校の状況  
・地域の実態に応じ  
て、機運が高まれば研究  
していく。

設置による明確なメリ  
ットや教職員の負担増に  
ついて検討が必要。  
**Q** 定着している地域主  
導の学校支援地域本  
部事業の推進、学校主  
導の情報発信が必要では。

**A** 教育長 現在は、教  
育委員会として情報  
発信の方針はない。計画  
的・政策的な広報戦略は  
必要であり、部課長を中  
心に検討する。



## 「住民に読まれ、議会活動が伝わる」紙面へ

広報委員会

29年度市町村議会広報研修会が、8月22日にルビノ京都堀川で開催。

住民に読まれ、議会活動が伝わる『議会広報の基本と編集について』、講師の議会広報サポーター芳野政明氏から講演を聞きながら、本市の「議会だより第40号」のクリニックを受けた。

3月定例会の概要は、主な議案に対する討論・質疑が掲載され、概要も伝えており、適正である。目玉事業を大見出しにしてその動向を伝えて訴求力がある。

請願・意見書も賛否討論を示し、賛否実数を示しているのも適切との評価を受けた。



伝わる紙面づくりを目指して

一方、「代表質問とは」の説明を含むリード文、トビラページもほしいと指摘があった。

最後に総評・特徴・改善点については次の3点。①議事公開が徹底され、水準の高い議会広報である。もつと住民に読まれ、議会活動が伝わる紙面作りを目指して、次回の議会広報クリニックでは、さらに高い評価をいただけるように、8人の広報編集委員はその思いを共有した。

②見出しが具体的に的確、訴求力がある。  
③レイアウトでもメリハリが効いていて読みやすい。

## 11月11日(土)

### 市民と議会のつどい(議会報告会)を開催します

市内3会場にて、「議会だより(42号)」をもとに、市民の皆さんと意見交換を行います。

事前のお申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

#### 報告会の内容

1部 定例会の審議内容

2部 ごみ袋有料化について

時 間	会 場	担 当
9:30~11:30	加茂文化センター(和室)	九社前・酒井・島野・高岡 西岡・森本茂・森本隆・山本
	山城支所別館(ホール)	片岡・河口・倉・高味 谷口・西山・森岡
13:30~15:30	東部交流会館(多目的ホール)	伊藤・尾崎・柴田・炭本 谷川・長岡・宮嶋

※問い合わせは、議会事務局まで TEL 0774-75-1240

なお、天候により中止の場合がありますので、あらかじめご了承ください。

# ごみ袋有料化について

## 『公聴会』を開催

意見を述べて  
みませんか

**日時** **11月19日(日)**  
午後1時30分から

**場所** **全員協議会室**  
(市役所5階)

厚生常任委員会では、「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正」の議案の審議にあたって、公聴会を開催します。

公聴会で意見を述べたい方（公述人）は、所定の申込書（ホームページ・議会事務局に備え付けてあります）に住所・氏名・職業・年齢を明記、意見を述べようとする理由および問題に対する賛否を記入のうえ、議会事務局まで持参または郵送してください。

**提出期限 11月7日(火)午後5時まで(必着)**

応募多数の場合は、厚生常任委員会で選定の後、応募者に通知します。

問い合わせは、議会事務局まで TEL 0774-75-1240

## 平成29年 第4回(12月)定例会予定

月	日	曜日	会議・委員会	場所
11月	24日	金	議会運営委員会(議会招集告示)	第1委員会室(5階)
12月	1日	金	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等	議場(6階)
	4日	月	本会議(予備日)	議場(6階)
	5日	火	総務文教常任委員会	第1委員会室(5階)
	6日	水	厚生常任委員会	第1委員会室(5階)
	7日	木	産業建設常任委員会	第1委員会室(5階)
	11日	月	グリーンセンター建設特別委員会	第1委員会室(5階)
	12日	火	補正予算特別委員会	第1委員会室(5階)
	14日	木	本会議 一般質問	議場(6階)
	15日	金	本会議 一般質問	議場(6階)
	18日	月	本会議 一般質問	議場(6階)
	19日	火	本会議 一般質問	議場(6階)
	20日	水	議会運営委員会	第1委員会室(5階)
	21日	木	本会議(閉会) 議案採決等	議場(6階)
	22日	金	本会議 (予備日)	議場(6階)

- ・日程については、変更となる場合があります。
- ・本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。
- ・本会議・委員会は9時30分から始まります。どうぞ傍聴にお越しください。
- ・次回議会日程の他、今までの本会議の様式や会議録について、市のホームページ（市議会）から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

## 子育てしやすい街



濱崎 加奈子 さん  
(州見台)

私は、木津町に生まれ、今は州見台に住んでいます。小学生2児の母です。住宅の環境や地域の結びつきも良く、住みやすく子育てもしやすい街だと思います。

子供が小さい頃は、ガーデンモールの「つどいの広場（げんきっ子）」で子育ての手助けとともに、私も心のリフレッシュをさせてもらいました。このような場所をどんどん利用して、楽しみながら子育てをしてもらいたいものです。これからも、子育て環境に力を入れていただき、住み良い街づくりをしてほしいと思います。

# わたしの意見

このコーナーへの投稿を  
お待ちしております。（220字以内）



今西 信義 さん  
(加茂町駅東)

## ありがたいは「有り難い」

私は、木津川市加茂町と精華町で、新聞の販売所をしています。毎朝2時から朝刊業務に家族や従業員さんたちに助けられ、日々

の日常業務をこなしています。あたり前に朝、目が覚めて、あたり前に仕事をし、あたり前に家族と過ごし、あたり前に明日やその先の予定なんかを、あたり前に話す。でも人の1秒先なんて、分からないものです。だからこそ、あたり前なことを、当たり前ではなく「有り難い事」と、今この瞬間を普通に過ごせることに「ありがとう」を、お忘れなく。



中島 正 さん  
(山城町椿井)

## 木津川は私たちの資源？資産？

木津川市の誕生から10年余。かつての万葉の都・恭仁京の範囲に再生した市は、合併前の3町融和の象徴である木津川を抱くことで、

この地域の歴史や風土を一体の景観として確保しました。しかし、木津川市に住む私たちは、稀有な「文化的景観」としての木津川を、過去から引き継いだ「資産」として意識しているのでしょうか。ふるさと木津川を眠れる「資源」としないために、まちづくりの中心に木津川をとらえることで、新たな魅力・価値を見出せるはずです。

## 編集後記

運動会や秋の恒例行事も盛況に終わり、冬の訪れを感じるようになりました。

9月定例会は、ごみ削減に向けてのごみ袋の有料化議案に対して白熱した議論が行われました。

また、28年度決算審査では、年々厳しくなる財政状況に早急な対応が求められました。

11月は、3会場での市民と議会のつどいとごみ袋有

料化に対する公聴会があります。皆様のご参加をお待ちしております。

柴田 はすみ

### 広報編集委員会

委員長	河 口 靖 子
副委員長	柴 田 はすみ
委員	谷 口 雄 一
森 本 隆	伊 藤 紀 枝
森 本 茂	西 岡 政 治
伊 藤 紀 枝	酒 井 弘 一

## お知らせ

12月定例会は12月1日(金)からはじまります。  
詳しい日程は、23ページをご覧ください。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

### 議会事務局直通

☎ 0774-75-1240

☎ 0774-72-8952

✉ E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp